

補助事業番号 2018M-055
補助事業名 平成30年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 新潟県

1 補助事業の概要

新潟県内には、古くから機械・金属や繊維産業など地場産業が集積しており、地域に蓄積された技術を基に、これら特徴ある産業集積や技術の強みを活かし、今後の成長が期待される次世代自動車、医療福祉機器、航空機等の分野への参入を目指した技術開発等の取組が行われている。

そのため本事業では、新潟県工業技術総合研究所素材応用技術支援センターに「紫外可視分光光度計」を導入し、依頼試験や機器貸付、技術相談、研究開発等の技術支援体制を強化することで、県内企業の成長分野への参入を促進し、製造業の高付加価値化と地域産業の活性化を推進するものである。

2 予想される事業実施効果

この装置を導入することにより、素材応用技術支援センターにおける技術支援体制の基盤強化が図られた。繊維や各種工業材料に対し、より精密な光学・色彩情報の把握から広範な物質濃度定量等、多様な分析が可能となり、高機能材料の利活用に関する技術支援体制が強化された。このことから、次世代自動車や健康福祉・医療機器関連産業、環境関連分野に求められる材料の開発等に関する化学分析の体制が強化された。今後、地域の中小機械工業や高分子材料関連企業、繊維関連企業の成長分野への参入促進が期待される。

3 本事業により導入した設備

① 紫外可視分光光度計

(URL) http://www.iri.pref.niigata.jp/ring_equipment/ring_H30_1.html

紫外～可視域に加え、近赤外域を含む単波長光を、布地やフィルム状、板状の試料に当て、透過率や反射率を測定する装置。水溶液中のホルマリンをはじめとした各種成分の定量測定、150mmφ大型積分球による固体試料の反射・透過率測定、JIS-K5602に基づく日射反射率の算出が可能である。



紫外可視分光光度計

設置場所：【新潟県工業技術総合研究所素材応用技術支援センター】

②本事業に係る印刷物等

■紫外可視分光光度計機器導入セミナー 配付資料

紫外可視分光光度計 機器導入セミナー

日時：平成31年2月19日（火）13:30～16:30
場所：素材応用技術支援センター研修室

1 開会あいさつ	13:30～
素材応用技術支援センター長 相田 取平	
2 当支援センターが保有する“光を応用した機器”の説明と貸付制度について	13:35～13:45
素材応用技術支援センター 専門研究員 佐藤 清治	
3 装置説明・測定デモ 1回目	13:45～15:00
3-1 紫外可視近赤外分光光度計 UV-3600Plus 装置概要と分析事例	
(株)島津製作所分析計測事業部 グローバルソリューション開発センター 課長 鈴木 康志 氏	
3-2 操作説明と布・樹脂などサンプルを用いた測定デモ	
(株)島津製作所分析計測事業部 グローバルソリューション開発センター 主任 安保 寛一 氏	
休 憩	
4 装置説明・測定デモ 2回目	15:10～16:25
5 総合質疑～閉会	16:25～

このたび導入した紫外可視分光光度計は、
公益財団法人JKA平成30年度機械振興補助事業
によるものです。

光とは

光は電磁波の一種で、その真空中での速度は約 3.0×10^8 m/secです。
電磁波はその波長によってエックス線、紫外線、可視光線、赤外線、電波などがあります。

UV-3600Plus測定範囲

波長とは

波長とは波の一周期の長さで、通常λ(ラムダ)という記号で表わされます。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 新潟県工業技術総合研究所
(ニイガタケンコウギョウギジュツソウゴウケンキュウシヨ)

住 所 : 〒950-0915
新潟県新潟市中央区鏡西 1-11-1

代 表 者 : 所長 山崎 栄一 (ヤマザキ エイイチ)

担当部署 : 企画管理室 (キカクカンリシツ)

担当者名 : 専門研究員 宮口 弘明 (ミヤグチ ヒロアキ)

電話番号 : 025-247-1301

F A X : 025-244-9171

E-mail : info@iri.pref.niigata.jp

U R L : <http://www.iri.pref.niigata.jp/>